



東っこ通信

2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.7
平成30年7月6日(金)
校長 築波 真史

学校教育目標

<豊かな心をもち、自ら学び、進んで行動する児童の育成>

～夢にチャレンジ東っ子～

大雨や台風接近による登校や休校への対応ありがとうございました

梅雨もいよいよ終盤で全国的に大雨が降り、各地で被害も出ているようです。思えば福岡県朝倉地方を中心に甚大な被害と多くの犠牲者が出た九州北部豪雨は去年のちょうど今頃（7月5日～6日）でした。

特に、最近によく「ゲリラ豪雨」と呼ばれるような短時間に記録的な降水量を記録したり、「線状降水帯」と呼ばれる大雨が長い時間続いたりする雨の降り方があり、以前とは気象条件も変わってきており、これまでの知見や経験では対応できない場合もあると考えられます。

本校でも子どもたちの安全を第一に考え、6月29日(金)及び本日7月6日(金)の朝は大雨洪水警報の発令に伴い、子どもたちの登校の時間帯に激しい雨が予測されることから、緊急に登校時の注意をお願いするまちコメールを発信しましたところ、学校のすぐ近所の子も以外のほとんどの児童を送っていただき、始業の8時15分までには全校児童の登校が完了しました。また、7月3日(火)は町教委によって台風7号の接近による臨時休校という判断がなされましたが、それぞれのご家庭で適切に対応していただきました。3日の午後3時過ぎごろから学校周辺も激しい風雨に見舞われましたが、幸い大きな被害を出さずに済みました。ありがとうございました。

現在、大阪での地震によるブロック塀の倒壊事故や台風接近による被害などを受け、町教育委員会の指示により通学路の点検を行っています。危険な高さや倒壊の恐れのあるブロック塀、倒れそうな大木、看板、防犯灯などの調査を学校単位で行っておりますが、範囲が校区内全域になりますと、学校だけではなかなか調査に限界があるのも事実です。そこで、それぞれお住まいの地域で地震や台風時に危険と思われる箇所がありましたら、各地区担当職員が伺うことによりまして、本日の地区懇談会の折にでも話題にさせていただけたらと思います。

校内ウォークラリーを縦割り班で楽しみました

6月26日(火)は校内ウォークラリーを行いました。これは子どもたちが縦割り班ごとに校内に設けられたチェックポイントを通りながら縦割り班ごとの得点を競うというもので、異学年間の交流活動を行うことによる高学年のリーダーシップや低学年のグループへの帰属意識の醸成などを目的に行っています。

計画立案、準備、当日の運営まで、我々教師ももちろんアドバイスを与えたり、準備の協力をしたりということはありますが、基本的には各委員会を中心とした高学年の児童に任されています。どんな内容にするかを話し合った後、我々学校職員へ向けたプレゼンテーションを行って、無理のない運営か、準備の手間は大丈夫か、時間は長くかかりすぎはしないか、低学年から高学年まで楽しめるか、などを審査され、必要であれば先生方から修正や変更のアドバイスがあります。

当日は、私が出張のため参加することができなかったのですが、教頭先生から少しウォークラリーの様子を聞きました。それによると、思ったより時間がかかり、全部のチェックポイントを通りできなかったグループもあったようですが、みんな楽しく活動に参加できたということです。また、一つ一つのチェックポイントでは子どもらしいユニークな発想や学校にあるものを上手に利用したアイデア、また低学年や次に来るグループへの配慮などが感じられ、みんなが楽しめる工夫が見られてよかったですと聞いています。



本年度第1回の学校評議員会を実施しました

「学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していく」ために、設置者は「学校評議員」を置くことができると学校教育法施行規則に定められています。目的は、「校長が学校運営に当たり、学校の教育目標・計画や地域との連携の進め方などに関し、保護者や地域住民の意見を聞くとともに、その理解や協力を得て、特色ある教育活動を主体的かつ積極的に展開していく」ためのものです。みやき町は全小中学校が「学校評議員」を委嘱しており、本校も3名の方をお願いをしています。6月23日(土)のみやき町教育の日に合わせて本年度第1回を行い、授業参観のあと、学校教育目標、本年度の取り組みの重点、これまでの教育活動の経過などを説明し、子どもたちの地域での様子や学校での学習指導について意見をいただきました。

総合的な学習の時間で様々な取り組みを行っています

3年生以上が取り組む学習として、「総合的な学習の時間」があります。これはそれぞれの学校の地域・自然・人などをいかして、子どもたちが直接触れる中で学習を進めるものです。先週から3年生、4年生、5年生の学習の様子を見に行きましたので紹介します。

■ 3年生

3年生は毎年、筑後川に近い本校ならではの地域学習として、筑後川についての学習の一環として、毎年下筑後川漁業協働組合で運営されているエツの養殖場の見学に行っています。今年も6月28日(木)に行くということでしたので、私も同行させていただきました。養殖場ではエツがなかなか獲れなくなってきたこと、絶滅危惧種に指定されていること、平成10年頃から養殖に取り組み始め、苦労を重ねてここ数年でやっとある程度稚魚を放流できるくらいになってきたことなどを学習しました。筑後川の自然の豊かさを学んだ一日でした。



■ 4年生

4年生は6月29日(金)に東分にある高齢者施設「ケアライフ花の里」を訪問しました。入所者の皆さんは楽しみに待っていてくださっていたらしく、子どもたちが挨拶をただけで涙ぐんで喜んでくださる方もおられました。リコーダーの合奏のあと、グループに分かれて双六やカードゲーム、将棋などを一緒に楽しんだり、肩たたきをしてあげたりと交流を行いました。子どもたちも普段の友だちと接している様子とはまた違う、とても優しく、相手を気遣う姿に成長を感じることができ、嬉しく思いました。



■ 5年生

5年生は毎年米作りについて学んでいます。6月28日(木)に学校の近くにある学習田でもち米の田植えに取り組みました。JA三根東地区青年部の皆さんの指導を受けながら、田んぼに入り、最初は慣れない手つきでしたが、すぐに要領をつかんで苗を植える場所を示すラインに沿って、間隔をとりながら上手に植えることができました。この学習田は学校にも近く、浜田、納江、持丸、南島の子どもたちの通学路のそばでもありますので、秋の稲刈りを楽しみに稲の成長を見守って欲しいと思います。



アンケートへのご協力ありがとうございました

先日行いました「いじめについて」と「教職員の指導について」のアンケートにつきましては、全て私が開封し、確認いたしました。教職員の指導については早急に対応すべき事案はありませんでしたが、指導方法について気になるという御意見もありましたので、確認をしています。いじめについては1件訴えが寄せられましたので、教頭、担任と話しあい、当事者に話を聞くとともに、保護者への連絡を行って話をうかがうなどして確認するとともに、他の子どもも含めて指導を行っております。引き続き、何かお気づきのことや気になることがありましたら、いつでもご連絡をいただければと思います。